



中研レポート No.11 (年2回発行)



発行 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所

特定業務運転者課程の紹介



運転適性検査では、反応動作、注意配分等の能力を測定し、自己の運転傾向を認識します。



エコドライブ研修では、エコドライブのポイント等について講習を受け、講習前後の燃料消費量等を測定し、エコドライブの効果を体験します。



危険予測・回避研修では、右折時における対向車の接近する速度や右折可能距離を推測することにより、事故を回避する方法を学びます。



スキッド走行の研修では、滑りやすい路面を人工的に作り出し、速度の出しすぎや、急ブレーキ等によって車の限界を超えた運転の危険性を、安全な環境下で体験します。

特定業務運転者課程では、電気・通信などの公益事業、運送業、警備業、医療・介護、保守管理業等の安全性・確実性・迅速性が強く要請される業務に従事する運転者に必要な知識技能について、各種実技研修や理論研修を行っています。

実技研修では、日常点検や基本走行などの基本的な研修のほか、道路環境の違いによるブレーキング、横滑りやスリップを体験するスキッド走行、ドライバーの能力の限界を体験する危険予測・回避などの研修を行います。また、運転適性検査により反応動作及び注意配分等の能力を検出し、運転傾向を認識していただきます。

同課程には、3日コース、2日コース、1日コースがあります。3日コース、2日コースでは、右直事故の検証、コメンタリードライビング[※]などを研修に取り入れ、より充実した研修を行います。さらに、3日コースでは、研修の際に研修前後の燃費やエコドライブを実践した場合のCO₂削減効果等を示した「エコドライブ講習診断書」を研修生全員に交付するなど、エコドライブにも重点を置いた研修を行っています。

※ コメンタリードライビング・・・道路環境や交通状況の変化を声に出して運転する訓練法です。「ぼんやり運転」や「うっかり運転」を防止し、運転に意識を集中させます。